

(お知らせ)

30.7.27
防衛省

装輪装甲車（改）の開発事業について

防衛装備庁において開発事業を進めている装輪装甲車（改）については、試作品に不具合（耐弾性能のばらつきの多い防弾板の使用や板厚不足等）があり、当該不具合の改善等の必要な対応を行うため、開発完了時期が、当初計画していた平成30年度から、平成33年度以降に遅延することとなった旨を昨年12月に公表しておりました。

その後、試作品の受注企業において、新たな防弾材による耐弾試験が行われていましたが、現状のまま開発事業を継続しても、耐弾性、重量、量産コストに関する目標を満たして開発を完了できる見込みが立たないことから、装輪装甲車（改）の開発事業を中止することとなりました。

防衛省としましては、今般の開発事業の中止を受け、次期装輪装甲車の整備のあり方の検討など、必要な対応を適切に行ってまいります。